



「伝えたい木の文化、残したい美しい森」
（美しい森林づくり推進国民運動）

モア・トゥリーズの美しい森林づくり

一般社団法人モア・トゥリーズは音楽家・坂本龍一氏が「もっと木を、もっと森を」と提唱して設立した団体です。

モア・トゥリーズは、気候変動対策への効果、生物多様性への配慮、地域コミュニティへの貢献を大きなテーマとして掲げ、森林再生プロジェクトを国内外で立ち上げてきました。

モア・トゥリーズの取組の特徴は、森林整備と森林資源の活用を同時に図りながら

地域の活性化を目指すことで、その手段としてカーボン・オフセットを導入している点です。地元が工夫し、努力することで、森のめぐみを活かした森林の整備が進むようになる

——ことを目的に活動しています。

モア・トゥリーズは、平成一九年

七月、音楽家の坂本龍一氏のほか、

細野晴臣氏（ミュージシャン）、高橋

幸宏氏（ミュージシャン）、中沢新一

氏（文化人類学者）、桑原茂一氏（音

楽プロデューサー）の五名が発起人

となり、音楽界や演劇界、デザイナー、

学界等から百名以上の賛同者を得

て、設立されました。主に、①国内

での森林整備や森林保全活動、国外

での植林活動、②森林に由来するカー

ボン・オフセット・サービスの提供、

③間伐材アイテムの企画・加工・販

売——に取り組んでいます。

最初の取組は高知県梛原町

『もっと木を、もっと森を』とい

うスローガンは、世界的な森林減少

に危機感を抱いたことから考えられ

たものです。

森林再生の活動を目指す中で、日

本では、森林を大切に管理すること、

間伐をしながら森林の質を高めるこ

とを目標として、取組をスタートさ

せました」と語るのはモア・トゥリー

ズの水谷伸吉事務局長です。



モア・トゥリーズの
水谷事務局長

モア・トゥリーズの森林整備は、高知県梛原町でのプロジェクトから始まりました。梛原町は町面積の九％を森林が占めています。この広大な人工林を管理していくには膨大なコストと労力を必要とし、手入



北海道下川町の協定林をバックに坂本会長と安齋町長

間伐が進んだ栲原町の森林



多くの都市部のオフセット導入企業の参画により森林整備の資金

モア・トゥリーズの森林づくりの特徴について、水谷事務局長は、「通常の企業のCSR活動などで取り組まれる森林整備は、企業がそのコストを負担する形で進められますが、企業側にも資金的な制約があり、活動の拡がりには限界があります。モア・トゥリーズでは、カーボンオフ

都市と森林をつなぐ プラットフォーム

れが十分に行き届かないエリアも存在しました。
平成一九年一月、手入れの行き届いていない人工林五八・四鈔を対象に、間伐、作業道の整備、間伐材の搬出を施業内容として、三年間で整備を進める内容の協定が、モア・トゥリーズ、高知県、栲原町の三者で締結されました。

セットの制度を採用すること、



中土佐町での間伐材の搬出

を得ることができ、森林整備の拠点を順次拡大することが可能となりました。また、間伐材などの「森のめぐみ」を販売することにより、森林整備のための資金を得ることも取り組んでいます。モア・トゥリーズは、都市と森林をつなぐプラットフォームとして機能します」と説明しています。

森林整備の取組は拡大

栲原町と同じような取組は、高知県中土佐町（平成二〇年八月）、北海道上川町（平成二二年四月）、長野県小諸市（平成二二年九月）へと拡が

りました。

モア・トゥリーズのパートナーは、①単に援助を希望するというのではなく、小さくても林業で村を盛り上げたいという希望を持って真剣な取組を行っていること、②利用間伐を行うことができる設備、技術、体制を有していること、③地域活性化という観点から、地域内で加工施設や設備を有すること、④行政が地域振興を積極的に展開を図っていること——などを考慮して選定しています。

森のめぐみ・間伐材アイテム

モア・トゥリーズでは、間伐材を使ったベンチやカレンダー、ブローチ、鳩時計といった商品開発にも独自の展開を図っています。「森林の整備によって生産された木材に『デザイン』という付加価値をつけることで、それが商品として販売でき、結果として『森のめぐみ』

が森林の整備に還元されるという循環ができて上がります。このためにモア・トゥリーズの趣旨に賛同していただいたデザイナーの方々の協力もいただいています。ただし、



「森のめぐみ」・間伐材を使ったベンチと万年カレンダー（写真・太田拓実）

製品化を進めるにあたって、見積もりやサンプルの提供に時間がかかるなど、山側と都市側の感覚の違いに困惑することもあります。」と水谷事務局長は話します。

これからの展開

モア・トゥリーズでは、本年、新たに、九州で森林整備の協定を締結する予定です。

今後も都市部での企業の参画を呼び掛け、また山側の取組をバックアップしながら、より多くの地域で森林整備、「森のめぐみ」の活用が図られるように努力していきたいと考えています——としており、これからもモア・トゥリーズの事業展開が期待されます。